

愛知医科大学病院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	愛知医科大学病院におけるカテーテル関連血流感染症のサーベイランスデータの評価
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）臨床感染症学講座 （職名）教授 （氏名）三嶋廣繁
研究の対象となる方	2023年6月1日から2025年3月31日までにカテーテル関連血流感染症と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025年8月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 カテーテル関連血流感染症は院内の発熱および感染症の主な原因の一つです。当院ではカテーテル関連血流感染症と診断された患者さんの集計を行っております。カテーテル関連血流感染症が起きた患者さんに有効な抗菌薬が投与されていない状況も多く、現状を把握し、改善するために、挿入カテーテルの種類、検出菌、薬剤感受性、初期抗菌薬などについて調査します。 〔利用方法〕 電子カルテを用いてデータ収集を行い、挿入カテーテルの種類、検出菌、薬剤感受性、初期抗菌薬の投与状況について調査します。検出された菌が初回に投与された抗菌薬に感受性を有していた割合を集計します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、挿入カテーテルの種類、検出菌、薬剤感受性、初期抗菌薬などを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025 年 7 月 31 日までにメールにより下記問い合わせ先まで申し出てください。 shibata.yuuichi.414@mail.aichi-med-u.ac.jp
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 薬剤部 担当者：(職名) 薬剤師 (氏名) 柴田 祐一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線：34253)